

こまつ6月

男	2,653	+7
女	2,939	+14
合計	5,592	+21
世帯数	2,667	+35

公民館利用状況(4月)

利用件数	163件
利用者数	2,305人

西条市小松公民館 〒799-1101 西条市小松町新屋敷甲 3008 番地
TEL・FAX:(0898)72-2631 E-mail:komatsu-k@saijo-city.jp

【小松歴史講座】

5月14日(日)に、小松史談会と公民館共催の「小松歴史講座」が3年ぶりに開催され、史談会会員や一般の方等多くの方々に参加していただきました。

山岳写真家の一色龍太郎氏の「石鎚山に抱かれて」と題し、石鎚村の古道(妙口から湯浪へ、湯浪から古坊へ、そして「かねの鳥居」の星が森峠を越えて郷へ、郷から槌ノ川へ、槌ノ川から石貝へ、石貝から石鎚小中学校跡)までを歩き、村役場跡や石碑・石灯笼・六地藏など、今ある姿を、今残る民族文化を収めた写真のお話しに、参加された皆さんは感動し、なつかしく思い出される方もいらっしゃいました。



《かねの鳥居》四国八十八ヶ所第60番札所横峰寺奥の院「星が森」から望む西日本最高峰の石鎚山

【趣味の講座 苔玉づくり】

日時: 6月13日(火) 13:30~

内容: 苔玉づくり

場所: 小松公民館

参加費: 700円(当日持参)

定員: 15名(先着順)

講師: 小松山草会

申込開始: 6月1日(木)

申込締切: 6月9日(金)

問合せ・申込

小松公民館 TEL(0898)72-2631



「小松子ども教室」

今年度は、6月から19教室の開催です。

登録されたお子さんは、忘れずに参加してくださいね!

※欠席される場合は、早めに公民館へ連絡してください。

小松公民館 TEL(0898)72-2631



高齢者の居場所づくり(高齢者カフェ)
高齢者が気軽に立ち寄り話ができる居場所づくりとして『高齢者カフェ』を開催します。

遊びに来てくださいね。

日時: 令和5年6月13日(火)
9:30~11:30

場所: 小松公民館 大会議室

対象者: 65歳以上の方、ご家族の方等

問合せ: 西条市地域包括支援センター

西条西部・小松 担当 長井

TEL 0898-52-8221

持参物: 水筒(自分の飲みたい物)、老眼鏡
筆記用具等

一駐在さんのつぶやき

特殊詐欺に気をつけてください!!

こんにちは、小松駐在所の宗岡です。
皆さんはスマートフォンやパソコンをお持ちですか? 管内を巡回中に、不審なメールや電話が架かってきたという話をよく聞きます。

「オレオレ詐欺」や「架空請求詐欺」はもちろん、近年はスマートフォンやパソコンを用いた詐欺が増えてきています。

スマートフォンへのショートメッセージ、インターネット使用中のウイルス感染など、詐欺被害の入口は様々です。

被害防止のため、

○迷惑メールフィルターの設定

○怪しいメールは開かない

などの対策をお願いします。

不審に感じる事が被害防止の第一歩ですから、お困りの際は警察へご相談ください。

西条西警察署 小松駐在所



<小松小学校PTAから>
資源リサイクル活動の
ご協力をお願い

実施日: 6月11日(日)

雨天時は18日(日)に延期

※学校が臨時休業等の場合は中止になることがあります。

回収するもの: 新聞紙、雑誌、段ボール

※種類別にして、ひもで縛ってください

※新聞紙と広告は分けなくて結構です

※布は集めません

回収について: 午前7時から7時30分の間に、市指定のリサイクル置き場か、各地区の指定の場所にお出してください。

(前日には出さないようにご協力ください)

※お問い合わせは、小松小学校PTA事務局(72-2704)までお願いいたします。

行事予定



日	曜	行事名
1	木	
2	金	
3	土	小松子ども教室 スポーツ 9:30~ 3・4年生 体育館 ディスコン 13:30~ 体育館
4	日	
5	月	休館日
6	火	
7	水	
8	木	
9	金	
10	土	小松子ども教室 おこと 10:00~ 3年生以上 防災クッキング 10:00~ 3年生以上 川柳と昔遊び 13:00~ ディスコン 13:30~ 体育館
11	日	
12	月	休館日
13	火	高齢者カフェ 9:30~ 趣味の講座 「苔玉づくり」13:30~
14	水	
15	木	きらりいきいき小松の子通学合宿
16	金	きらりいきいき小松の子通学合宿
17	土	きらりいきいき小松の子通学合宿 小松子ども教室 フラワーアレンジメント 13:00~ 1~3年生 14:30~ 4~6年生
18	日	
19	月	休館日
20	火	
21	水	
22	木	公民館協力委員会 16:00~
23	金	
24	土	小松子ども教室 将棋 9:30~ 4年生以上 家で飾ろう! 笹飾り 9:30~ おこと 10:00~ 3年生以上 習字・硬筆 13:30~ 1・2年生 14:30~ 3~6年生
25	日	小松歴史講座 13:30~
26	月	休館日
27	火	
28	水	
29	木	
30	金	

◆西条市役所のHPにはカラー版を掲載しています。

西条市小松公民館だより



ロビー展 俳画

入場
無料

小松史談会・小松公民館共催

令和5年 歴史講座のご案内

長期にわたる、新型コロナウイルス感染も現在は収束しつつあります。史談会の各種行事も順次再開したいと思います。まず6月から、史談会と小松公民館共催による「歴史講座」を行う予定です。今話題の石鎚黒茶のお話です。皆様のご参加をお待ちします。



愛媛県歴史文化博物館 専門学芸員

大本敬久先生

【プロフィール】

講師の大本先生は、西予市の県歴史文化博物館の学芸員として長年、多くの展示・研究調査にあたられています。ご専門は民俗学・日本文化論で、近年は災害被害調査や文化財レスキューなども広く活動されています。石鎚に関する信仰やその生活、また「石鎚黒茶」の調査報告書も近年発刊されました。

日時 令和5年6月25日(日) 13:30~15:00

場所 小松公民館 2階 大ホール(小松町新屋敷甲3008)

演題 国指定無形民俗文化財『石鎚黒茶について』

※申込方法：下記へ電話又は窓口までお願いします。

小松温芳図書館 TEL (0898) 72-5634 小松公民館 TEL (0898) 72-2631

【郷土資料室から 第21回「新収蔵資料展」のお知らせ】

21回目を数えた「～新収蔵資料展～」も11日(日)で終了します。7月からは特別公開「郷土資料室のお宝展Ⅰ」を計画しています。お楽しみに！
会期：令和5年7月9日(日)～9月18日(月)まで
時間：10:00～17:00 入館無料
休館：月曜日と月末
小松温芳図書館・郷土資料室 TEL (0898) 72-5634 小松町新屋敷甲 3007-1

【石鎚黒茶の製造技術】 国重要無形民俗文化財指定記念シンポジウム

令和5年3月22日に本市の「石鎚黒茶の製造技術」が発酵茶の伝承や製造技術の変遷を理解する上で重要であるとして、国の重要無形民俗文化財に指定されました。それを記念してシンポジウムを開催します。ぜひご来場ください。

日時 6月4日(日) 13時15分～16:30分(12時45分開場)

場所 西条市小松公民館

主な内容

- 指定団体の紹介
- 記念講演
- パネルディスカッション
- 製造工程を紹介するパネル展

※当日は、試飲会等を行います。(都合により中止する場合があります。)

時間 12時00分～13時00分

問合せ 市庁舎新館4階社会教育課 TEL 0897-52-1628



【高齢者交通安全教室を開催します！】

自動車を運転される高齢者の方を対象に、体験型の交通安全教室を開催します。ドライブレコーダーによる運転のチェックを行うことで、ご自身の運転技能を再確認することができます。ぜひ、ご参加ください。

○日 程：令和5年6月19日(月) ※1日あたり午前・午後の2回開催

○時 間：午前の部 9時～12時、午後の部 13時30分～16時30分

○場 所：西条ドライビングスクール(西条市石田284番地)

○対 象：市内在住のおおむね65歳以上の方で、自動車運転免許をお持ちの方

○定 員：1回20人(先着順)

○応募締切：6月12日(月)

○その他：当日は運転免許証と、眼鏡等運転に必要なものをお持ちください

○申込先：西条市役所危機管理課くらし安全係 TEL0897-52-1284(直通)



～毎月10日は人権を考える日～

映画「破戒」から考える

昨年、水平社創立100周年記念事業として映画『破戒』が製作されました。

主人公は瀬川丑松。丑松は、故郷を出るとき父親から「いいか丑松、部落民という素性を隠せ。」と言われます。この戒めを守って、素性を隠したまま、やがて丑松は小学校の教師となり、子どもたちに慕われます。自分が授業をする教室で、子どもによる部落差別事象が起こります。丑松は、子どもたちに差別することの間違いを話します。そして、誰もが胸を張って生きていくことの素晴らしさを話して聞かせるのです。ですから、子どもたちにとって丑松は、すべての子に対して同じ態度で接する大好きな先生なのです。

また、この戒めを守って、大人の部落差別事象の現場に出くわした時には、じっと耐えて見て見ぬふりをするのです。「止めたい。止めさせたい。」という気持ちをどのようにして押しとどめていたのでしょうか。どんな気持ちで我慢して耐えていたのでしょうか。丑松の尊敬する猪子蓮太郎は、出自を明らかにして活動する思想家です。その猪子に、手紙を出し面会することができました。しかし、猪子蓮太郎は壮絶な死を遂げます。その後、丑松の素性が、様々な形で、悪意ある人によって容赦なく暴かれていくのです。

思い悩む丑松は、ついに決意します。父の戒めを破ることを。学校で子どもたちに自分の出自を話します。そして涙ながらに懺悔します。・・・懺悔しなければならぬことでしょうか。部落差別は、絶対に許すことができないものです。明治時代は、そういう時代だったのでしょうか。今の時代には考えられないことです。20数年後には、水平社が創立され、宣言が高々と読み上げられます。「自らを誇りうる時が来たのだ。」

教師を辞し東京へ向かう丑松を、子どもたちと師範学校時代からの友達の教師が見送ります。丑松は子どもたちに言うのです。「生きていれば、きっとまた会える。」この言葉から、丑松の子どもたちへのメッセージが想像できます。「どんなに苦しくても、耐えろ。そして生きろ。」「この世の中をきっと変えてみせるぞ。それまで、がんばれ。」「みんなで一緒に、差別のない世の中にしていくぞ。」「仲間を信じろ。仲間と一緒になら耐えられるぞ。仲間と一緒に変えられるぞ。」もっとももっとたくさんの思いを込めて語ったのだと思います。

「愚かだから差別するのではない。弱いから差別するのだ。」劇中の言葉で、印象に残った言葉です。私なりに解釈すると、差別することは許されないことだと分かっている。それが分からないほど人間は愚かではない。差別するのは、自分を守ろうとして、自分以外の者を犠牲にしているのだ。自分以外の者を犠牲にして自分を守ろうとする狡さなのだ。差別することは、自分の弱さをさらけ出していることなのだ。

この弱さを克服していくことが、現在に生きる私たちの使命だと考えます。一人一人の弱さを克服して、住みよいまち西条をつくり上げていきましょう。

西条市人権教育協議会 西条市人権擁護課